

平成23年3月11日、東北地方から東日本を中心とし国内史上最大級の震災（東日本大震災）が発生しました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、支援活動にご尽力されている皆さまに心から敬意を表します。

本ページでは、被災地で支援活動を実施されているNPO/NGO団体をご紹介します。

国連経済社会理事会総合協議企画NGO

## 特定非営利活動法人AMDAアムダ

(The Association of Medical Doctors of Asia)

H23.5月1日発行

### 特定非営利活動法人AMDAとは

AMDAは、1984年の設立以来、「困った時はお互い様」という相互扶助精神のもと、「救える命があればどこへでも」をモットーに、平和を妨げる要因である紛争・災害・貧困に苦しむ人々への保健医療支援を柱とする国際人道支援活動をアジア・アフリカ・東欧・中南米51カ国で実施してきました。実施した緊急救援は128件になります。難民や災害被災者への短期的な緊急救援活動や中期的な復興支援活動を行い、特に緊急救援活動の際には、AMDA海外支部（30カ国）間で「AMDA多国籍医師団」を編成し、医療救援活動にあたっています。2006年には、国連経済社会理事会（ESOSOC）から世界で137番目、日本のNPO法人として最初の「総合協議資格（※）」の認証を受けました。

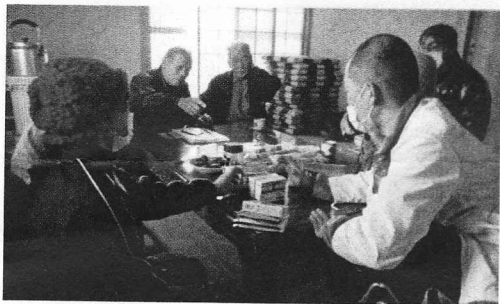
※「総合協議資格」：国連経済社会理事会に政策提言するなど国連との間で相互利益的な作業関係を構築できる資格。

### 被災地での活動

震災の翌日3/12から被災地（仙台市）に入り、緊急医療活動を開始しました。避難所に常駐して診療活動を行うとともに、小さな避難所や自宅で避難をしている被災者の方のために、巡回診療活動も行っています。これまでに仙台市の他、岩手県釜石市、岩手県大槌町、宮城県南三陸町で活動を行いました。のべ114人（4/5現在）の医療チームの派遣を行い、医療支援の他、岡山県の本部と連携しながら物資の供給なども行っています。

### 今後必要と考える支援

現地のニーズを踏まえながら医療支援活動を継続した後は、被災した地元の医師の支援を通して、被災地の地域医療の復興を促す「地元医師支援」の他、教育の面からの復興支援として「AMDA東日本大震災国際奨学金」を設立する予定です。また、文具の寄贈や学生同士が交流を行えるよう支援する「復興支援教育プログラム」も計画しています。



巡回診療の様子



避難所での診療の様子

【問い合わせ先】AMDAボランティアセンター

〒700-0013 岡山市北区伊福町3-31-1 TEL: 086-252-7700

e-mail: member@amda.or.jp HP: <http://www.amda.or.jp>